

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日 ～ 2025年1月6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年1月6日 ～ 2025年1月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個の特性に合わせて、個別機能訓練と小集団活動を組み合わせ て支援し、身体機能の維持・向上を図ったり成功体験につな がるよう工夫しています。	お子様とご家族が安心して楽しく過ごせることをモットーに、 意思表示が困難なお子様に対する障がいの特性や発達過程を 考慮しながら、支援をおこなっています。	季節の合わせた活動に併せて、課外活動（地域散策、公園遊 びなど）にも力を入れています。
2	支援内容や一日の様子を記録と写真で、保護者様に確認でき るようにしています。	各プログラムごとの利用者の表情などを知ってもらうことで、 保護者にも活動内容の理解と安心感を持ってもらうため、写真 にも力を入れています。	今後、他のお子様との交流の様子も定期的に発信していける ように準備中です。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様全体に対する発信が少なく、お子様や保護者様に十分 な情報が届けられていない。	情報発信の方法について、事業所内で検討が不十分でした。	現在、事業所通信の発行に向けて準備中です。
2	活動スペースが狭い。	利用児童数が多いにも、安全確保に最大限配慮し、必要時は パーティションを用いることで個別の空間を確保しています。	安全と空間の確保のため、更なる工夫と設備面で改善できる ことを検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 令和7年1月6日

0

回収数

0

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木					公表日	令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	現在、未就学児を受け入れていませんが、移行時期の兼ね合いで受け入れ態勢は整備しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	生活空間はシンプルで分かりやすい構造です。玄関前のスロープが急なので、安全面に配慮しています。	発達に合わせた設備が不足しているため、検討していきたい。また、トイレがバリアフリー仕様でないのが課題です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	必要時はパーティションを用いることで個別の空間での対応をしています。	今後、必要に応じて隔離スペースの確保のための検討が必要です。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		会議を開いて職員に周知徹底しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3		保護者等の意向等を事業所内で把握しているが、その内容を確実に業務改善に繋げられるように努力していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	現在、第三者による外部評価は実施しておりません。	必要に応じて今後検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	アプリの活用による研修や、全職員への伝達研修など、意識されてきたと思います。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	4	2025年1月、支援プログラムの作成と報告済みです。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	毎年アセスメントをとり統一したアセスメントシートを使用しています			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	職員によって記録の質に差があるので、検証と改善に心がけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		必要に応じて併用児童についての情報共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	移行時期には、今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		今後、必要に応じて児童発達支援センターとの連携も模索していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		要望があれば、検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		現在、ペアレントとレーニン等の支援を行っていませんが、今後、職員が情報提供できるように情報収集等に努めています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	現在、未就学児を受け入れておりませんが、必要に応じて丁寧な説明を心がけていきます。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	毎回、計画作成前に本人とご家族の意向を確認しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		要望があれば、検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4		現在、通信の発行に向けて準備中です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	地域住民を招待する行事は行っていません。	地域に開かれた事業所運営を目指すための検討を行っていきたくと考えています。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		契約前のアセスメント時にアレルギーの有無を確認済みだが、必要に応じて指示書の受け取り等の対応も実施していきます。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		送迎車運転時のマナーなど、忘れがちなことも常に注意喚起や確認が出来るようにしていきます。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		安全計画は策定済みですが、安全計画に基づく取組内容についてご家族に周知できるよう努めていきます。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		マニュアルを作成して、研修を行っています。行政主催の研修には必ず参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	やむを得ず、身体拘束を行う必要がある場合は、事業所職員全体で検討・決定し、子どもと保護者に十分な説明をいたします。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個の特性に合わせて、個別機能訓練と小集団活動を組み合わせて支援し、身体機能の維持・向上を図ったり成功体験につながるよう工夫しています。	お子様とご家族が安心して楽しく過ごせることをモットーに、意思表示が困難なお子様に対する障がいの特性や発達過程を考慮しながら、支援をおこなっています。	季節の合わせた活動に併せて、課外活動（地域散策、公園遊びなど）にも力を入れていきます。
2	支援内容や一日の様子を記録と写真で、保護者様に確認できるようにしています。	各プログラムごとの利用者の表情などを知ってもらうことで、保護者にも活動内容の理解と安心感を持ってもらうため、写真にも力を入れていきます。	今後、他のお子様との交流の様子も定期的に発信していけるように準備中です。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様全体に対する発信が少なく、お子様や保護者様に十分な情報が届けられていない。	情報発信の方法について、事業所内で検討が不十分でした。	現在、事業所通信の発行に向けて準備中です。
2	活動スペースが狭い。	利用児童数が多いにも、安全確保に最大限配慮し、必要時はパーティションを用いることで個別の空間を確保しています。	安全と空間の確保のため、更なる工夫と設備面で改善できることを検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 令和7年1月6日

11

回収数

11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				毎週送っていただける写真では確保されているように感じます。	基準のスペースは確保しておりますが、そのスペースで可能な範囲で活動内容を決定しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		3	分からないが、送迎でも他の事業所よりも多くのスタッフさんが付いてくれているので十分なのでは、と思います。	現在、基準以上の職員配置で運営しております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				2		分かりやすい環境の中で支援させていただいていますが、更なるバリアフリーや配慮が出来るように心がけていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1				今後、さらに子どもの特性に応じた支援が出来るように研鑽していきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				1	引き続き、各支援項目に対して、具体的に支援内容を設定していきます。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	2	5			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					説明がある時に事前に教えてもらえると助かります。（予定を入れないようにしたい）	今後、モニタリングや支援計画の説明などは、事前にお伝えできるように準備してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	3	4			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	2	5	3		無いが、必要性もあまり感じていません。	項目の活動は、現在行っておりませんが、今後、要望に応じて検討してまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				多分（そう思います）。写真でも笑顔たくさんなので、楽しそうです。	ありがとうございます。今後も子どもの笑顔が絶えない事業所運営を心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス（重症心身）ジャックと豆の木				公表日	令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	活動スペースは広くはないですが、児童数が多くても安全配慮に気をつけています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	生活空間はシンプルで分かりやすい構造です。玄関前のスロープが急なので、安全面に配慮しています。	発達に合わせた設備が不足しているため、検討していきたい。また、トイレがバリアフリー仕様でないのが課題です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	必要時(パーテーションを用いることで個別の空間での対応をしています。	今後、必要に応じて隔離スペースの確保のための検討が必要です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2		会議を開いて職員に周知徹底しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		保護者等の意向等を事業所内で把握しているが、その内容を確実に業務改善に繋げられるように努力していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	現在、第三者による外部評価は実施しておりません。	必要に応じて今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3	アプリの活用による研修や、全職員への伝達研修など、意識されてきたと思います。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2	2025年1月、支援プログラムの作成と報告済みです。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	毎年アセスメントをとり統一したアセスメントシートを使用しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3	個に応じた支援内容を考え、効果的に楽しく活動できるようにしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		職員出勤後に毎回、支援の内容や役割分担について確認をおこなっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		必要に応じて、支援後に振り返りの時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	職員によって記録の質に差があるので、検証と改善に心がけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		必要に応じて利用児童についての情報共有を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	移行時期には、今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		必要に応じて利用児童についての情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		今後、気軽に相談できる環境を整えるために連携していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		現在、地域の他のこどもと活動する機会はありませんが、要望があれば事業所内で検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	管理者、児童発達支援管理責任者は、定期的協議会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		現在、ペアレントとレーニン等の支援を行っていませんが、今後、職員が情報提供できるように情報収集等に努めていきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		要望があれば、検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	7		現在、通信の発行に向けて準備中です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	地域住民を招待する行事は行っていません。	地域に開かれた事業所運営を目指すための検討を行っていきたくと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2		契約前のアセスメント時にアレルギーの有無を確認済みだが、必要に応じて指示書の受け取り等の対応も実施していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		送迎車運転時のマナーなど、忘れがちなことも常に注意喚起や確認が出来るようにしていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		安全計画は策定済みですが、安全計画に基づく取組内容についてご家族に周知できるよう努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		マニュアルを作成して、研修を行っています。行政主催の研修には必ず参加しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	やむを得ず、身体拘束を行う必要がある場合は、事業所職員全体で検討・決定し、子どもと保護者に十分な説明をいたします。		